

●ベースカー/トリアンフ・TR3A '60年型
 ●協力/ワーク西日本 ☎06-6746-2859
 ワーク中日本 ☎052-777-4512
 ワーク東日本 ☎043-688-7555
 www.work-wheels.co.jp

PHOTO&TEXT 浦野浩之



ワークのカリスマカメラマン
JC a.k.a. センボン

(ジョン・クリストフ・ベレンス)

ワークに関わる人なら誰もが知っているJCサン(カスタムCARではときどきセンボン)は、車載カメラマンであると同時に「エイップ40」のブランドマネージャー。社内では営業部海外マーケティングチームに属する。海外担当を行う有能なビジネスマンでもある。



ワーク40周年を記念するエイップ40を
 先代社長が遺したトリアンフに履かす

東京オートサロンのワークブースに展示されていた1台のヒストリックカー。新作ホイールを履いているとはいえず、その見慣れない姿に感嘆を突かれた人も多いだろう。クルマは英国生まれのトリアンフTR3A。ワーク創業者であり、一昨年亡くなった先代田中社長が遺した1台だ。ヒラリーやMGなど多くの英国車を所有し、レストアしたクルマでレースにも参加するほどだった故田中社長。そんな先代に手向ける形で、ワーク40周年の記念として出展された。

足を飾るエイップ40は、モデルもお願したワークの名物カメラマンJC(ジョーシー)氏プロデュースの本。原型はレースチーム全盛期のレーシングホイールだが、クラシカルな4スポークデザインにはさげなくコンテプシナルエントを込め、砂型鋳造をモチーフにしたザラザラとした表面処理など、世代を超えて響くような隠し味が施されている。さらにスポークが短くなるのを承知の上で、ピアスポルトを組む座面の幅をあえて広く取るなど、リムとディスクのデザインバランスまで丁寧に寄せたネオクラ仕立てが特徴だ。

クルマのほうも話題性はたっぷり。このTR3Aというモデルはかなり小さく、貧相なため、レストアした同車をロケットパニールで有名TR A京都に預け、ワントポボディワークを代表の三浦氏に依頼した。三浦氏によりワイドボディ化され余裕が生まれたことで、ディープムが覆けるようになり、さらにはチンスポ風エアロメイクも施し、懐かしさと新しさが入り混じった仕上げとなった。

生粋の英国製ヒストリックカーをカスタムベースにするとは大胆不敵。だが、2トップのカスタマイズ文化を牽引してきたワーク社の、しかも先代社長に向けて1台となれば誰もが納得だろう。



WORK EQUIP 40 TRIUMPH TR3A



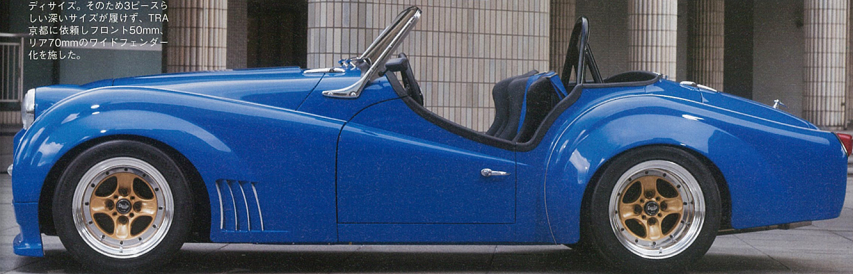
往年のモデルをベースにした
 新作ピュアスポーツ

過去ワークがレース用車両に用いたセンターロックホイールをモチーフに、現代の技術とデザインで再設計。ワーク40周年記念、4H車専用、4スポーク、という趣意だけで「エイップ40」の名が与えられた3ピース構造で、サイズ設定は15×5.5-13J。旧車を視野に入れたうえで、12本留めのピアスポルトなど、クラシカルムードも満点だ。写真は100セット限定リムステッカー/センターキャップ仕様。

Wheel
 Love
 Stance

ホイール 愛 スタンス

トライアンフTR3Aは今のクルマでいうとコンパクトクラスのボディサイズ。そのため3ヒースらしい深いサイズが厚けず、TRA京都に依頼しフロント50mm、リア70mmのワイドフェンダー化を施した。



TRA京都によるワイドボディ化でよりグラマラスに変身!



チンスポ風スポイラーもワンオフ製作

歴史のカーのイメージと現代のカスタムを融合したチンスポ風のエアロを装着。オールドファッションからすると強烈な存在感を漂わしているが、軽なるレストアではツマラナイと考えるあたりが、攻めの姿勢を見せる7ワークらしさの現れた。



カーボンパネルやロールバーなど現代風のインテリアメイクが目目を惹く。装着されたシートは、先代田中社長の友人でもある、ブリッド高橋氏より贈られたローバックモデルのヒストリックだ。

あえてフェンダーのラインを2段にすることで、ストックのボディを知らない人にも後のカスタムを気付いてもらいたいとの想いを込めた。結果としてホイールサイズはF:8J OUT18、R:9.5J OUT25と極深になった。タイヤはフージャーを選択。サイズはF:225/45、R:245/40だ。



エンジンはストックのままだがセンターマフラーをワンオフで製作し、見た目とサウンドのスポーツツムと高めた。パイプ径の太さや連熱板の処理など、さりげなくレーシーな味付だ。

極深リムのホイールと、フェンダーアーチはつばつにタイヤを収めるあたりに旧車レーシーなスタイリングを感じる。また、フロントフェンダーにはスリットのデザインを入れ、カスタムオーバーフェンダーをアビールしているのだ。





Wheel Love Catalog

ホイール愛カタログ

ルーツを感じるレトロデザインにメロメロ!

過去の銘品をリスペクト&オマージュすることが、ホイールのデザイントレンドとなつて久しいが、本企画ではその手のホイールを一挙大集約! 旧車にも現代車両にもマッチするクールなホイールの数々に魅了されること確実!!

構成・文/コンヒデキ



WORK | ワーク

問 >> ワーク西日本 ☎06-6746-2859 ワーク東日本 ☎048-688-7555 www.work-wheels.co.jp

EMITZ | イミッツ

現代流インチアップでVIP黎明期の銘品再臨

バブリーな国産ハイソカーが栄華を極めた'90年代初頭にデビューし、VIPセグメントの草分けとなつた「ワーク・イミッツ」が約20年の時を超え復活!! 繊細なフィンスポークと存在感あふれるディープリムはそのままで、往年の技術では不可能だった19~21インチの大径サイズと自なおffsetオーダーを両立。ピンチジェの当時物では味わえない温故知新ホイールとして早くも注目のマトだ!!

WHEEL SPECS

- サイズ:19x7.5-12.5J、20x8-12.5J、21x8-12.5J(オーダーインセット)
- 構造:2ピース、フルリバースリム
- ホール数&PCD:5H 114.3
- カラー:クロム、ブラッククリア
- 価格:7万5000~13万3000円



GRAN SEEKER CCX | グランシーカーシーエックス

シーカーの上級版フラッグシップモデル

スタンスシーンで人気を確立した「シーカーシリーズ」の上級ブランドとして、今年から新たに加わつたのが「ワーク・グランシーカー」。その第1弾のCCXは、ネオ・オールドスクールのコンセプトをより高次元に踏襲した3Dメッシュデザインインリバースリムのマルチピースホイールだ。ディスクカラーや特殊P.C.Dへの対応、カットアルマイトリムのアレンジなど、セミオーダー可能なものGOOD。

WHEEL SPECS

- サイズ:19x7.5-12.5J(IN45-OUT38)、20x7.5-12.5J(IN51-OUT38)
- 構造:2ピース、リバースリム
- ホール数&PCD:4H 100、5H100、114.3(特殊P.C.D可)
- カラー:マットブラック、カットクリア(セミオーダー可)
- 価格:7万7000~9万9000円



Seeker | シーカー

5つの個性で魅了するスタンスホイールの定番

復刻版と異なるモダンレトロなディズクデザインで、多彩なラインナップを擁する「ワーク・シーカー」。国産車&欧州車のスタンス系ユーザーから幅広く支持されている。現在のラインナップはこの5種類で、すべてノーマルリム風のステップリップを採用した2ピースキャスト構造。16インチから選べるサイズバリエーションの豊富さも、車種や年式を選ばないマッチング性能の高さを裏打ちしたものだ。

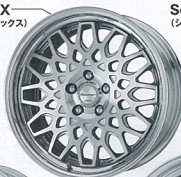
WHEEL SPECS (全モデル共通)

- サイズ:16x6-8J、17x7-10.5J、18x7.5-11.5J(オーダーインセット)
- 構造:2ピース、リバースリム
- ホール数&PCD:4H 100、5H 100&114.3(特殊P.C.D可)
- カラー:マットブラック、カットクリア(セミオーダー可)
- 価格:4万9000~6万8000円



Seeker SX
(シーカーエスエックス)

Seeker CX
(シーカーシーエックス)



Seeker FX
(シーカーエフエックス)



Seeker EX
(シーカーイーエックス)



Seeker GX
(シーカージーエックス)